

## 令和4年度 国語科「言語文化」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 1年 A組～H組
教科書	高等学校 言語文化（第一学習社） 高等学校 現代の国語（第一学習社）	副教材等	新総合 図説国語（東京書籍） 完全マスター古典文法（第一学習社）

### 1 学習の到達目標

<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
--

### 2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価材料
4	古文入門	児のそら寝（宇治拾遺物語） 古文を読むために1・2	・古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを知る。・積極的に説話を読み味わい、互いに話のおもしろさを伝え合おうとしている。・主として歴史的仮名遣いや古今異義語について、文語のきまりを理解する。・品詞の種類について文語のきまりを理解する。	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査
5	理解編1	「羅生門」芥川龍之介  中間考査	・下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取るなどして、自分の意見や考えを論述する。・比喻などの修辞を理解する。・内容の解釈を踏まえて粘り強く下人の行為を評価し、表現の仕方を工夫して書こうとしている。	リフレクションシート ポートフォリオ
6	漢文入門	訓読に親しむ(一)～(三)	・漢文を訓読するための基礎知識として、返り点の種類と使い方、助字のはたらきと意味、再読文字の種類と読み方を習得する。・文章の種類を踏まえて、たとえ話を読み解き、内容や展開を的確に捉える。・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。・故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめようとしている。	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題集の提出 成果物の提出 定期考査
7	故事成語	漁夫の利 狐借虎威  期末考査		リフレクションシート ポートフォリオ
9	歌物語	芥川／筒井筒（伊勢物語） 古文を読むために3	・歌物語では感動の中心が歌にあることを理解し、内容や展開を的確に捉える。・「歴史の窓」と「筒井筒」の課題を踏まえて、作品の歴史的・文化的背景を理解する。・歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉えようとしている。	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題集の提出 定期考査
10	理解編2	「砂に埋もれたル・コルビュジエ」原田マハ	・父との過去の会話を重層的に描いた構成を把握し、一冊の本にまつわる三人の人間の思いを読み取るな	リフレクションシート ポートフォリオ

11		中間考査	どして、自分の意見や考えを論述する。・本文に叙述された本に対する思いを積極的に読み取り、自分にとって思い入れのある本を、根拠を示してまとめようとしている。	
12	史伝  近現代の詩歌	先従隗始（十八史略）  I was born（吉野弘）	・戦国時代を背景とした国の状況を知るとともに、郭隗が用いた論理の巧みさを読み解く。・「先従隗始」の由来と現代の意味の違いを知り、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。・積極的に史伝の特徴を理解し、たとえ話における論理を説明しようとしている。  ・散文詩に親しみ、「I was born」という言葉がどのようなイメージで捉えられているかを読み取る。・「僕」「父」の心情など、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。・「僕」の理解したイメージを自分事として共有し、考えたことを積極的に話し合おうとしている。	授業態度 発問評価 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
1	随筆（一）	春はあけぼの（枕草子） 古文を読むために4	・自由に記述された随筆を読んで、当時の人々の生活感覚や興味の対象を知り、ものの見方・考え方を理解する。・「歴史の窓」と読み合わせて、作品の歴史的・文化的背景を理解する。・作品に表れたものの考え方や美意識を積極的に理解し学習課題に沿って自分の考えを伝え合おうとしている。	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題集の提出 定期考査
		学年末考査		

### 3 評価の観点

知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。
思考・判断・表現	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
主体的に学習に取り組む態度	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

### 4 評価の方法

次の3観点を、記載の評価資料に基づいてA B Cで評価します。

●知識・技能：定期考査、小テスト等

●思考・判断・表現：定期考査、小テスト、提出物等

●態度：提出物、授業態度等

A・・・充分満足できる（学習達成状況 100%～80%）

B・・・おおむね満足できる（学習達成状況 79%～30%）

C・・・努力を要する（学習達成状況 29%～0%）

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力をつけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

積極的な態度で授業に臨んで下さい。一年間頑張りましょう！